

おとまり保育だより

円町まぶね隣保園
2022.9.30

カレンダーを見て、「あとなんかいねたら、、、」「かわでさかなとろうな」と楽しみにしていたお泊まり保育ですが、「おかあさんとはなれたくない」「よるねれへんかもしれへん」と日が近づくにつれ、ドキドキや不安な気持ちも口にしていました。それでも、キャンプファイヤーのダンスやお泊まり保育ごっこで、何をするのか知っていくと、ワクワクの気持ちも大きくなっていく様でした。

1日目

当日は笑顔で元気に登園していた子どもたち。園庭ではお見送りしてくれたお家の方と涙で別れる子どももいれば、「いってきまーす!」とすがすがしく挨拶して出発する子どももいました。貸切バスに乗って30分程で八瀬に到着。ここから15分程急な坂道を登って八瀬野外保育センターを目指します。道中でイモリやカタツムリを見つけ、何度も立ち止まり期待を膨らませながら登りました。



おちついてえ～



今回泊まる「かつらの家」に荷物を置いて、センターの「たかちゃん」にご挨拶し、八瀬の生き物や約束事について話をききました。大きなカマキリやヒキガエルを見て、朝から気持ちが高ぶっていたこともあり、更にテンションが上がり興奮状態です。

お弁当と川遊びの用意を持って芝生広場へ。大きな水槽に泳ぐ八瀬の川にいる魚たちを見ながら、ウッドデッキでおにぎりを食べました。「わたしのおにぎりながはいってるでしょーか!」とクイズを出しながら、美味しそうにほおばっていました。食べ終わった子どもから芝生広場で少し遊んで次はみんなが楽しみにしていた川あそびです。



「ごろごろしよう!」と畳の上に寝転がり、目をつむってちょっと休憩。それからおやつを食べようと部屋の前の広場に出ると、丸い家のようなもの(子どもたちは宇宙船とよんでいました)の上に、ポムちゃんからの手紙を発見しました!そこには「やせのまじよともだちになった」と書かれています。「えっ!てがみのえのポムちゃんもまじよのふくきてはるやん!」と早速気付く子どももいました。「まじよってどんなやろなー?」と話しながらおやつを食べていると窓の外に黒いマントと帽子のおばあさんが!!みんなで「みてみて!」と驚いていると、こちらに手を振って去っていくのでした。予想外のおばあさんの魔女に涙する子どももいました。



野外炊事場へ移動し、「お泊まり保育では自分たちの食べるものも自分達で作ろう」ということでカレーとサラダを作りました。キャベツやほうれん草、たまねぎなどの野菜を小さくちぎっていきます。煮込みは園長先生にお願いすることにして、その間昼食を食べた芝生広場に戻って遊びました。サル親子が来たり、大きなショウリョウバッタを見つけたり、たかちゃんに草笛を教えてもらったりと、豊かな自然の中は刺激がいっぱいで、誰かが何かを見つける度にみんなで集まって感動していました。



また山道を下り、八瀬駅の側から川に降りて行きました。前日は雨でしたが、当日は良いお天気で、ライフジャケットを着るともう、すぐに川に浸かり「きもちー!」と水の流れに身を任せていました。ひざ上くらいの深さがあり、腹ばいで進んだり、顔をつけてバタ足...カエルも3匹つかまえて観察したり...夢中であそび1時間あっという間に経っていました。たっぷり遊んでまた山道を登り、かつらの家に帰ってきた時にはくたくたになっていました。

カレーとサラダができたので野外炊事場にあるテーブルを囲んで「いただきまーす!」自分たちが手伝って作ったごはんはやっぱりおいしー!!たくさん盛りつけたのにおわりする子どももいました。さっき見た魔女が来ないかと、周りを気にしながら食べている子どももいました。



部屋に帰ったら次はお風呂です。女の子、男の子の順で入ります。頭と身体は自分で洗い、保育者が流していきます。たくさん遊んでたくさんかいた汗をスッキリ流し、大きなお風呂にみんなであわわい入りました。



1日目の最後は楽しみにしていたキャンプファイヤーです。外は真っ暗になっていました。初めは園長先生、石川先生によるマジックを見ます。「えー！なんでー！」「すごーい！」と楽しんで見ていました。園長先生から火の大切さや怖さについて話を聞き、トーチで点火すると、一気に明るくなり、暗くて見えなかった友だちの顔が見えるようになりました。キャンプだホイを歌ったり、キンコンカンを踊ったり、虫とりにいこうよやフープリレーなどのゲームをして、みんなで火を囲み、楽しいひと時を過ごしました。



2日目

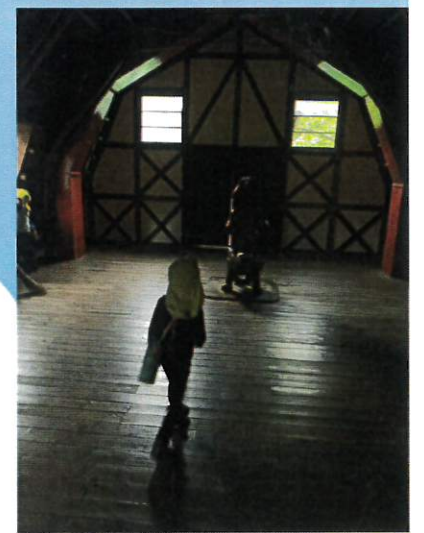
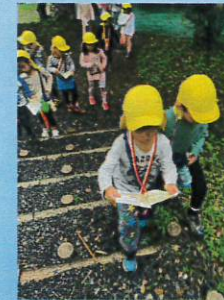


朝は6時頃から目を覚ましていた子どもたち。ドキドキして眼りについた子どもも、ひと晩たいよう組の友だちと過ごしたことで自信がついたように笑顔で「おはよー！」と声をかけていました。



礼拝をして朝ごはんを食べると、昨日と同じ場所に、またポムちゃんからの手紙が！！「おやまにプレゼントがあるからさがしてね」という内容でした。荷物を整理すると、早速みんなで山の探索に出かけます。たかちゃんに教えてもらった魔女の家目指して地図を見ながら進みます。「こわい〜」という子どもたちに「ポムちゃんの友だちやし、きっと大丈夫」と話しながら到着。魔女の家にそーっと入ると2Fへと続く階段を登り、魔女のほうきや料理を見つけました。ほうきにまたがり、力を込めて「ん〜、、えいっ！」とんでみる子どもたちの姿がありました。そして大きなイスの上に小包み。怖くて下で待っていた子どもたちにも教えて小包み開くと、みんなおそろいのキーホルダーが入っていました。「ポムちゃんやー！」「まじよのふくきてるー！」と怖がっていた子どもたちもパッと笑顔になっていました。

部屋に帰って友達と協力して自分たちで布団を敷きます。うがいをして、パジャマに着替えて、絵本を見て9時には布団に入りました。たっぷり遊んだので、すぐに眠る子どももいましたが、ドキドキソワソワ、なかなか眠れない子どもや、一回寝ついても何度か起きてくる子どももいて、全員がしっかり眠りについたのは午前1時をすぎた頃でした。



ここで激しい雨が降り出し、木の枝を2本ずつ拾いながら、かつらの家へ。ほっと一息ついて、キーホルダーをリュックにつけ、拾ってきた枝に毛糸を巻き付けて、木の飾りを作ります。バスの時間までは、トランプや塗り絵、お絵描きなどをして、二日間楽しかったことを振り返りながらゆったりと過ごしました。

最後は今回お世話になった、たかちゃんに挨拶をして下山し、バスではホッとした表情の子どもたちでした。無事園に着きお家の方の顔を見ると、笑顔があふれ、又、頑張っていた気持ちの糸がブツンと切れて涙して抱きつく姿もあり、伝えたい思いがいっぱいの様子でした。



この二日間、子どもたちにとって、きっと心に残る素敵な思い出になったのではないかと思います。お家の人と離れて過ごす寂しさや、心細さをクラスのみんなと乗り越え、泊まれたことは子どもたちの心と身体を強くしてくれました。そして友だちとの関係をより深められたとも感じています。お泊まり保育でしかできない、この貴重な経験は、これからの子どもたちの生活にしっかり生きていくことだと思えます。準備からお迎えまで、子どもたちに寄り添い、ご協力頂き本当にありがとうございました。